

新消防庁舎 運用開始



平成26年度から着手してきた消防庁舎の建築工事は順調に推移し、11月末に完成、12月5日(月)から一部運用を開始します。今後、旧庁舎の解体・外構工事に着手し、竣工は平成29年7月の予定です。

新庁舎完成を契機に、これまでも増して安全で住みよいまちづくりに取り組んでいきます。

新消防庁舎の特徴

新消防庁舎は、地震・津波災害を想定して耐震構造とし、通信指令室には床免震装置を採用することで、大地震後も災害対応が可能です。自家発電設備、太陽光発電システムを設置し、環境にもやさしく、災害に強い庁舎となっています。

高機能消防通信指令装置

新消防庁舎には新しいシステムとして、「高機能消防通信指令装置」を導入しています。このシステムは、最先端の技

術を駆使し、119番通報を受信すると通報場所が表示されること、すばやく災害地点を特定し、出動隊編成から出動指令までの一連の処理を自動的に行うことが可能です。災害出動車両に設置された端末機器を通じて情報を共有することができ、現場との連携が強化されます。

また、平成25年度に運用開始した消防救急無線のデジタル化と合わせ、暗号化での通信のため秘匿性が向上し、個人情報の保護にも配慮しています。いかなる状況下でも確実につながる通信手段で、迅速・的確な消防、

救急、救助活動が可能となります。

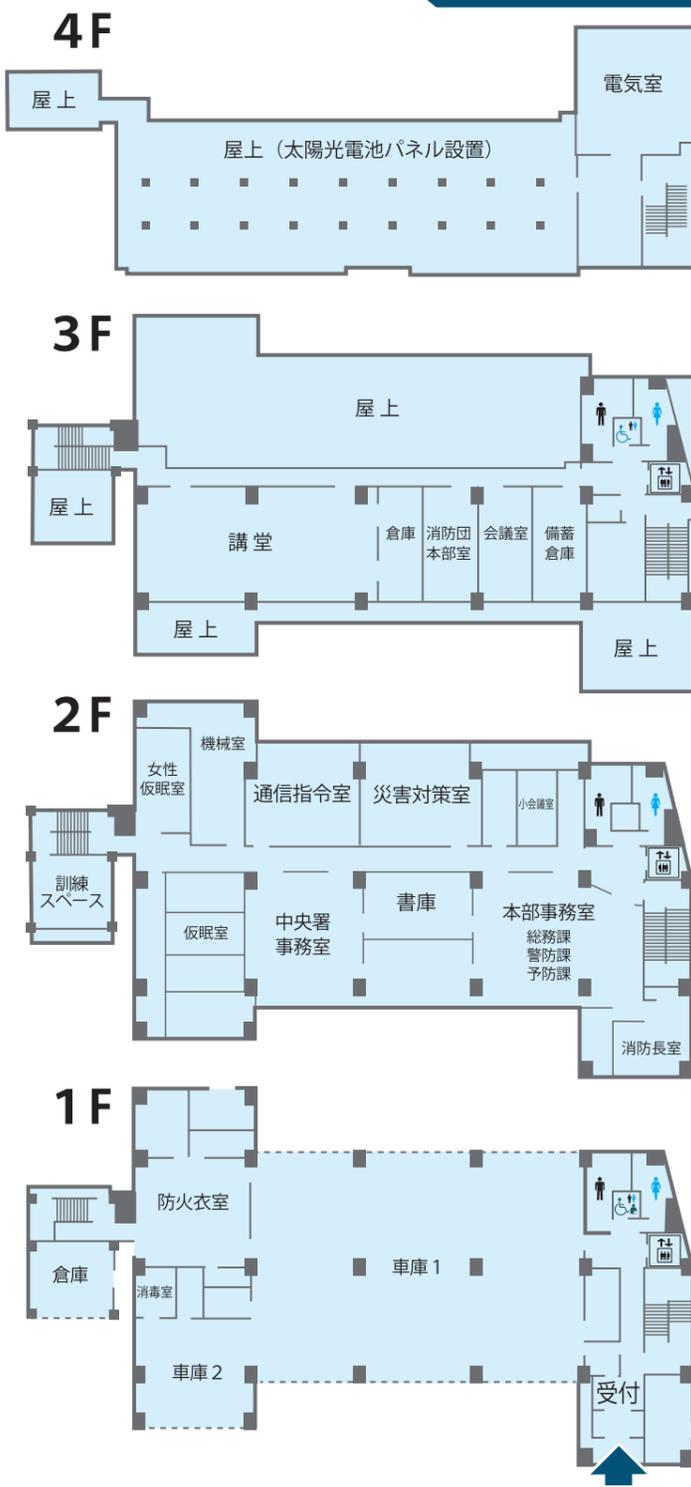
主・副訓練塔の整備

複雑多様化する各種災害に対応するための訓練施設をはじめ、防火管理講習などができるようスプリンクラー、屋内消火栓、避難器具を整備しました。

また、訓練塔では消防職員の体力錬成や消防救助技術大会に向けた練習を行うことができ、消防職員の体力・技能の向上を図ることができます。

■問い合わせ 長門市消防本部
Tel 22・5294

消防庁舎フロア図



■入口までの経路

市役所 簡易裁判所
市役所 駐車場

新庁舎
旧庁舎

長門 診療所
至仙崎・三浦

191

旧庁舎解体工事のため平成29年7月までは市役所南側駐車場を利用してください

■新消防庁舎の概要

- 消防庁舎/副訓練塔 地上4階 (RC造) 延床面積 2,403.76㎡
- 主訓練塔 地上5階 (RC造) 延床面積 224.27㎡

■事業費 (概算)

- 消防庁舎/訓練塔(主・副) 約13億円
- 高機能消防通信指令装置 約3億3千万円



▲太陽光電池パネルで発電した電力を庁舎で使用



▲会議や講習会で利用可能な講堂



▲高機能消防通信指令装置を導入した通信指令室



▲緊急車両 (消防車・救急車) 14台を駐車できる車庫



▲ロープブリッジ渡過などの訓練を行える訓練塔